

今後の利用促進策の方向性と主な検討項目（案）

愛媛県資料

生活利用の促進

公共交通に係る住民への情報提供の充実や、利用に際しての利便性の向上により、通勤・通学など日常生活における利用の促進を図る。

◎鉄道の利用促進に係る住民への広報啓発

◎ノーマイカー通勤デーの推進

- ・ホームページ等の充実によるダイヤや運行内容、乗りかえ情報等の提供

・利用者の状況にきめ細かく対応した割引制度の拡充

・まちづくりと連携した利用促進 など

※参考（既存事業）：公共交通ガイド、マップ等の作成（市町）

観光利用の促進

観光や地域イベント等との連携や鉄道を活用したイベントの企画等により、県内外からの新たな利用の掘り起こしを図る。

◎鉄道を活用したイベントの開催

・観光イベント等と連携した企画きっぷの造成

・サイクリングとの連携

・企画列車の運行

・事業者連携による企画きっぷ等の検討 など

※参考（既存事業）：駅への観光案内所設置（市町）、
観光列車の利用促進（市町、事業者）

交通機関の相互連携促進

交通機関相互の適切・効果的な組み合わせとなるダイヤ編成に努めるなど、交通機関の相互連携の促進による交通モード間のシームレス化を推進し、利便性の向上を図る。

◎鉄道やバス等が連携しやすいダイヤ等の調整

・MaaSの造成の検討

・鉄道、バス等が連携した企画きっぷ等の造成

・コミュニティバス等のJR駅接続の検討 など

※参考（既存事業）：バス路線の見直し（市町）、
企画きっぷ（事業者）

その他

地域の住民や域外からのビジネス・観光客が利用しやすくなるよう、駅及び周辺の整備を図る。

◎エレベーター、電停等のバリアフリー化の推進

・駅周辺施設（駐車場・駐輪場等）の整備

・駅の案内表示の充実 など

※参考（既存事業）：駅前広場整備（市町）、
駅舎、トイレ等の改修（市町）、
パーク&ライドの推進（市町）

◎は、都市部での利用を伸ばす効果が高いと考えられるもの